

タキストロン施工方法

幼児施設用

プラスケアWJ・CJ



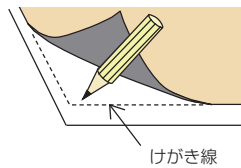
下地や床材の種類によって使用する接着剤・副資材などが異なります。別紙「工法」の表を必ずご確認ください。
 使用前保管時・施工時・養生時 ① 5℃以下(気温・下地)にならないこと ② 急激な温度変化がないこと ③ 水濡れのないこと

1. 下地・使用環境の確認

- 下地の清掃を行い、砂・塵埃などを除去してください。
- 下地の表面が平滑で十分な強度があること、塗料や油分などの汚れが残っていないことを確認してください。
- 下地に湿気がある場合は十分に乾燥するまで養生してください。(必要に応じて下地の水分率を確認してください。)
- 施工開始から養生終了までの間に5℃以下(気温・下地)になる場合や、急激な温度変化や水濡れがある場合は施工できません。

2. 割り付け

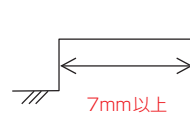
- できるだけ継目部を少なく、端部に小さなシートが入らないように割り付けてください。
- 端部は端部処理材の仕上げ代として隙間を空けてください。
- 接着剤を端部まで塗布するため、シート端部の位置を下地に鉛筆などでけがいてください。



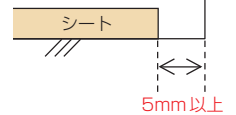
端部処理材の仕上げ代

	側溝側	壁際
プラスケアWJ・CJ (厚さ5.0mm)	7mm 以上	5mm 以上

<側溝側>

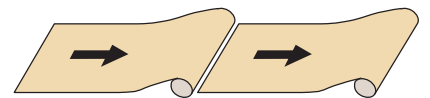


<壁際>



3. 仮敷き

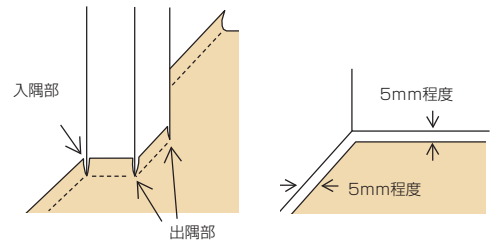
- 張り付け基準線に沿って、仮敷きを行ってください。
- シートには方向性があります。同一方向になるように施工してください。
- 巻きグセを取り、シワが生じないように敷き延ばしてください。
- 継目に隙間が空かないように仕上げを行ってください。
- ⚠ 隙間があると 10. 継目処理 の際、溝切が難しくなります。



4. 壁際の裁断

- 壁際は5mm程度の隙間が空くように裁断してください。
- 下地に防水層がある場合は、カッターナイフ等で傷をつけないように注意してください。

⚠ プラスケアWJ・CJはオープンタイム後の作業時間が短いため、できるだけ接着剤塗布前に裁断を完了させてください。



5. 接着剤の塗布準備

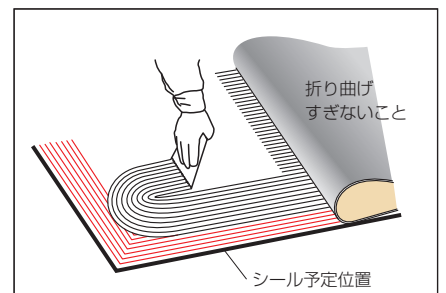
- 下地に接着剤を塗布するため、タキストロンの半分(幅方向)をずれないように折り返してください。
- ⚠ 幅方向に折り返すことで、張り付け時にエア抜がしやすくなります。
- ⚠ シート裏面の発泡層が破壊されやすいため、圧着後にシートを剥がしたり、シートを強く折り曲げないようにご注意ください。

6. 接着剤の塗布

- エポキシ系接着剤の場合、接着剤は下地上での混合は行わないで、別容器で十分に攪拌してください。
(下地上で混合すると混合不良となり後日のフクレ・接着不良の原因となります。)
- 下地に塗布ムラが生じないように均一に塗布してください。

標準塗布量 モルタル下地:300~400g/m²
非吸水性下地:250~350g/m²

- クシ山が1/3以上摩耗した場合、三角ヤスリで目立てを行ってください。
- シート端部の接着剤のクシ目は端部処理と同じ方向にしてください。(右図赤色部分参照)
- ⚠ 端部処理材の膨れ発生を抑制します。



試験データ
P.196

法規関連
P.218

工法・下地
P.229

施工手順
P.247

接着剤・副資材
P.314

副資材
品番一覧
P.328

メンテナンス
注意
P.333

7. オープンタイム

- タキボンド#607を使用する場合は、接着剤塗布後ただちに張り付けを行ってください。
- オープンタイムを取りすぎて接着剤が乾きすぎると接着力が低下します。
- 5℃以下(気温・下地)では使用しないでください。(硬化反応が進みません。)

⚠ 指触チェックをこまめに行い、
張り付け作業時間内に
早めに張り付けてください。

⚠ オープンタイムの目安 (20℃)
気温や通風状態により異なりますので指触チェックしてください

接着剤	プラスケア WJ・CJ	
	オープンタイム	張り付け可能時間
タキボンド#601	40~50分	50~60分
タキボンド#607	0~5分	5~15分
タキボンド#701	15~25分	25~35分

⚠ タキストロン プラスケア WJ・CJ 指触チェック図

タキボンド
#601

<例>
オープンタイム40分
貼り付け可能時間55分
の場合、作業時間は15分となる



糸を引く



軽く押すと
指につく



軽く押しても指につかないが
強く押すと指につく



強く押しても
指につかない



オープンタイム

張り付け作業

張り付け不可

オープンタイム40分

作業時間15分

張り付け可能時間55分

タキボンド
#607

塗布後すぐに
張り付け

<例>
オープンタイム1分
貼り付け可能時間15分
の場合、作業時間は14分となる



押すと指につく



押しても
指につかない



張り付け作業

張り付け不可

1分 作業時間14分

張り付け可能時間15分

タキボンド
#701

<例>
オープンタイム15分
貼り付け可能時間35分
の場合、作業時間は20分となる



糸を引く



押すと指につく



表面が薄く皮張り



オープンタイム

張り付け作業

張り付け不可

オープンタイム15分

作業時間20分

張り付け可能時間35分

試験データ
P.196

法規関連
P.218

工法・下地
P.229

施工手順
P.247

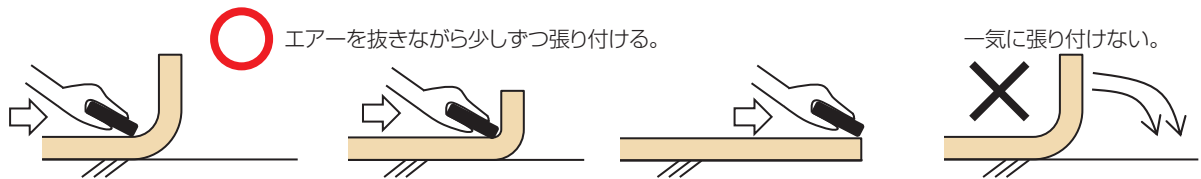
接着剤・
副資材
P.314

副資材
品番一覧
P.328

メンテナンス
注意
P.333

8. 張り付け・エア抜き・圧着

●シートにシワを生じさせないように、中央部から幅方向に**エアを抜きながら**少しずつシートを張り付けてください。



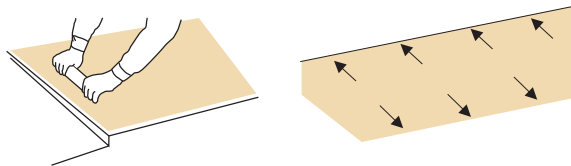
●シート張り付け後、しごき棒でエア抜きを十分に行った後、床ローラーやしごき棒などで圧着してください。

▲床ローラーやしごき棒でシートをひねらないでください。

●壁際及び継目部をハンドローラーやコーナーローラーで十分圧着してください。

▲オープントイムが短い場合、膝等で局部的に圧力をかけると、
接着剤が流動してしまい、シート全体に凹凸が生じる恐れがあります。

▲ **プラスケアWJ・CJはクッション性が高く、力が伝わりにくいので、強く圧着してください。**



9. 養生(1~2日)

●接着剤が硬化するまで1~2日養生させてから、次工程の処理を行ってください。

●接着剤が硬化するまで、5℃以下(気温・下地)にならないようにしてください。(5℃以下では硬化しないため)
また、急激な温度変化や水濡れがないようにしてください。

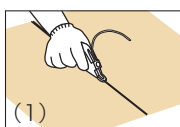
●接着剤が硬化するまで、重量物の運搬やキャスター椅子などによる「しごき」を避けてください。
養生中は雨水が入らないように注意してください。端部処理の仕上げに大きく影響します。

10. 継目処理

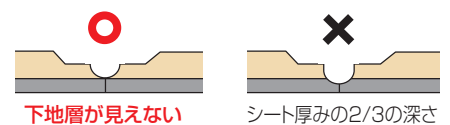
溶接工法

(1) 接着剤が完全に硬化してから、溝切機*等で発泡層が見えない程度の深さでU字溝を設けてください。

※推奨:「ユーキリ・スーパー」φ2.5mm



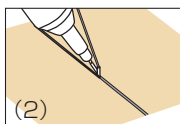
●溝深さはシートの下地層(発泡層)が見えない程度にしてください。
溝が深いと溶接棒が沈み込む恐れがあります。



下地層が見えない

シート厚みの2/3の深さ

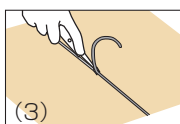
(2) 熱風溶接機(ライスター)でタキストロン床溶接棒を熔融させながら溶接ビードができる程度に溶接してください。



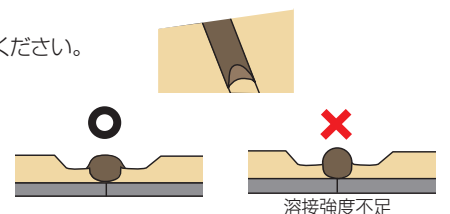
溶接条件の目安

設定	アナログ	6~7
	デジタル	400~500℃
スピード	約1~2m/分	

(3) タキストロン床溶接棒が冷えてから余盛部を溶接棒トリマー等で平滑に仕上げてください。



●溶接棒同士をつなぐ場合には、先に仕上げた溶接棒の端を、溝切り機やカッターナイフでU字、もしくはV字にカットしておいてください。
●熱不足や圧着不足になると溶接強度不足が生じます。
●加熱しすぎるとシートに焦げが生じます



溶接強度不足

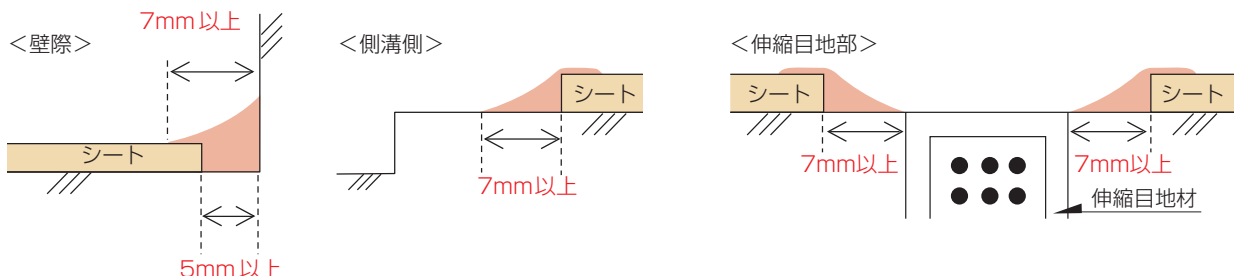
11. 端部処理

- (1)仕上りを美しくするためにマスキングテープで養生してください。
- (2)気泡を巻き込まないようにシート端部及び壁際に塗布してください。
- (3)充填後直ちに仕上げ用ヘラで平滑に仕上げてください。
- (4)ヘラ仕上げ後直ちにマスキングテープを除去してください。

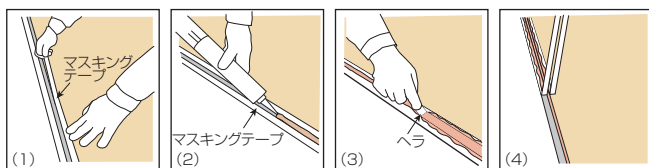
- ⚠ シールが硬化するまでにシートを踏むと、発泡層内の空気が押し出され、仕上がりに影響を及ぼすことがあります。マスキングテープの除去等の作業は注意して行ってください。
- ⚠ 端部処理のシール幅は**7mm以上**で仕上げてください。

端部処理材のシール幅

	側溝側	壁際
プラスケアWJ-CJ (厚さ5.0mm)	7mm 以上	7mm 以上



- ※伸縮目地がある場合は目地手前で端部処理を仕上げ、目地を露出させてください。(伸縮目地上にシールを打設すると、シールにひび割れが発生する恐れがあります。)
- ※シールの仕上がり面は、硬化後多少の痩せが生じます。
- ※施工時や養生中に湿度の高い場合や、結露、水滴などにより、シール表面の光沢に差が生じることがありますが、端部処理としての機能に問題はありません。施工日が異なる場合は打ち継ぎ箇所を目立たない所にするなどご注意ください。
- ※エポシールは主剤、硬化剤、カラーマスターの混合が必要ですので、同梱の取扱説明書を参照してください。

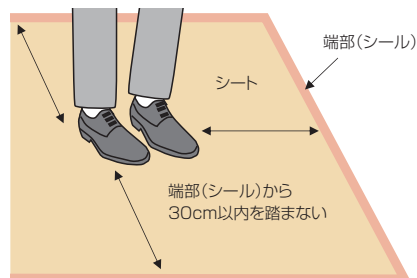


端部処理材の標準使用量

シート	エポシール
プラスケアWJ-CJ (厚さ5.0mm)	40m/2kgセット

(通常の1.2~1.5倍程度必要となります)

- ※端部処理のヘラ仕上げ作業以降、指で軽く触れてもつかない程度に硬化するまで(1日程度)は**シート端部から30cm以内**を踏まないように注意してください。



12. 清掃

- シート残材・接着剤容器・梱包紙等を片付けてください。
- カッターナイフの折れ刃の回収を徹底してください。

13. 養生(2~3日)

- シール材が硬化するまで、2~3日養生させてください。
- シール材が硬化するまで、5℃以下(気温・下地)にならないようにしてください。(5℃以下では硬化しないため)また、急激な温度変化や水濡れがないようにしてください。
- シール材が硬化するまで、触ったり踏んだりしないようにしてください。
- 養生中は土足での歩行を控え、汚さないようにしてください。(必要に応じて養生シートなどをご使用ください。)
- 屋内で使用する場合は換気を行い、引き渡しまでに数日期間を設ける等の配慮をしてください。
- 重量物の運搬などは、接着剤やシール材が硬化した後、ベニヤ板などを敷いて車輪の跡形や傷をつけないように行ってください。

試験データ
P.196

法規関連
P.218

工法・下地
P.229

施工手順
P.247

接着剤・
副資材
P.314

副資材
品番一覧
P.328

メンテナンス・
注意
P.333